



<http://www.town.hayama.lg.jp/nagac>

自分も人も大切に 道標ない旅

～思いやり
・チャレンジ
・しなやかな心～

◆◆ 百葉箱がよみがえりました！ ◆◆



屋根も半ば崩れ落ち、再生不可能かと思われた百葉箱が、業務員さんの粘り強い取組みで、見事によみがえりました。

毎日のように努力されていたので、業務としては大変重いものになってしまい申し訳なかったのですが、諦めることなく再生を目指してくださったおかげで、見事な復活を遂げました。すごく立派なできばえに、教師一同驚嘆しております。今では、宝の持ち腐れ状態であった「自記温度計」を中にセットし、毎日昼夜を問わず温度計測が行われています。学びが広がり、児童の理科センスが一層高まれば嬉しいなと感じています。

◆◆ 理科の先生方も頑張ってくれています。 ◆◆



学校内、駐車場脇にある畑（実験園）を耕運機を活用して理科の先生方が耕してくださいました。やがて、ジャガイモ（3月）やツルレイシ（ゴーヤ）（5月）を栽培する予定だということです。

耕した際には、給食室の自動コンポストで作られている肥料を混ぜています。元気に作物が育つことを期待しています。

◆◆ 森林未来会議 in 葉山(2/27at 葉山福祉文化会館)に参加してきました。 ◆◆

海と山に囲まれた葉山町、その森林側が持つポテンシャルを知りたくて上記会議に参加しました。日本を代表する林業や森林のプロによる6時間近い講演やディスカッションを通して、素人に近い私でも分かってきたことを紹介します。



プロの目から判断した葉山の森林部分は、「全く手が入っておらず、問題を沢山抱えている。とりわけどこも車が横付けできないアクセスの悪さを抱えている。」「海も貴重な財産である葉山なのに、土砂を一粒も海に流さないという決意が足りない。」「物質生産(木材生産)を目的とした林業はスケールからいっても成立しない。」「森林整備の方向性(デザイン)が町民に共有されているとは言えない。」「住宅地に近い里山広葉樹林の大径木化等起こりうるリスクと隣り合わせの葉山において、森林のリスクとベネフィットの仕分けを、受益者のスケールを考慮して判断する必要がある。」等々課題があることが見えてきました。

一方、林業には向いていないものの、首都圏をすぐそばに抱えた葉山には、人が訪れやすい圧倒的な魅力があることや、ツタや倒木などの課題を処理しての「きれいな(美しい)森なら5年で作れる。」と言った観点も示され、「生物多様性保全」「土砂災害防止」「水源涵養」「保健・レクリエーション」といった機能に葉山のポテンシャルを感じることが出来た会議でした。

簡単で良いから調査・踏査を行い、現状を知ることや、デザインの共有を図って、賛同する企業との出資を取り付けていくことが次のステップなんだろうと分かりました。地元の小・中学生が学びの中でどう関わっていけるのか、さらに考えていきたいなと思いました。

◆◆ 南郷中学校下の歩道橋付近の環境整備 ◆◆

土砂や枯れ葉が溝を埋め尽くして、水がたまって
しまう状況にあった南郷中学校通学路（歩道橋付近）
の環境整備を、本校業務員が行いました。たまって
いたものを全部取りだし、フタを取り付け、水の流
れ道を作りました。南郷中の生徒が喜んでくれると
いいなと思います。



◆◆ 葉山町防災広場の資材搬出入に係る児童・生徒の注意喚起について ◆◆



元のボンジュール付近の信号から、ユニオン・郵便局等海
岸方面に向かう道の途中、葉山岩崎内科クリニック付近にあ
る「葉山町防災広場」には、現在2つの工事に関わる資材が
置かれているそうです。広場は施錠されていて、直接侵入す
ることは出来ませんが、業者による搬入・搬出時に付近を通
行すると危険です。業者にも十分注意するよう伝えているそ
うですが、お子様や皆様も是非注意して事故に遭わないよう
気をつけてほしい旨、連絡がありました。

(左写真は Google より引用させて頂いています。)

◆◆ 6年生がレシテーション（英文暗唱）に挑戦しました。 ◆◆

この2月・3月、6年生にレシテーション（暗唱）へ挑んでもらってきました。
南郷中学校の伝統的な取組であるレシテーション大会は、中学校1年、2年、
3年それぞれに暗唱題材（例：We are the World の歌詞、キング牧師の演説、ケネ
ディ大統領の演説）が課せられ、各クラスで予選が開かれ全員が挑戦し、クラス
代表を7名ほど選出。学年大会で21名がレシテーションを競い合います。審査
結果で5名の優秀者が表彰されるものです。なお3年生5名の優秀者には、文化
祭当日、大統領の演説同様に、全校生徒の前で演説する舞台が与えられています。

私は、南郷中学校の英語レベルは普通の公立中学校の水準を超え、1段上のレ
ベルにあると思っています。私が校長を務めていた4～5年前には、国内での独
学だけで、長柄小出身の女生徒がその傑出した英語力を発揮して、2年連続（3
年目はコロナ禍で大会中止）県代表に選出され、全国大会である高松宮杯英語ス
ピーチ大会で活躍しました。彼女は、南郷中文化祭において、暗唱ではなく、自
身の文章を英語でスピーチし、当時の南中生をアッとさせていたことをよく覚
えています。この時に、試しに行われたのが「英語スピーチ大会の予選」でした。
参加者が3名ほどいたと思います。1段上のレベルを決定づける挑戦だったと思っています。

今回の令和7年度分離型小中一貫校化にあたって、9年間の学びを考えたときに、南郷中の英語教育の成果を
1段上の英語スピーチ大会に引き上げることが出来ないか？と考えたときに、レシテーション大会を小学校段階
に引き下げることが出来ないかを模索してみてもの試みとして、今回6年生にレシテーションを味わってもらっ
ています。人前で話すこと自体に抵抗感や苦手意識を持つ児童には、大きな負担となってしまったかもしれません。
学校教育目標である「自分も人も大切に～おもしろい、チャレンジ、しなやかな心」の「チャレンジ」の部分と
児童に納得してもらってから取り組めたら良かったのですが、少しでもいいチャレンジ(経験)になればいいなと
願っていました。実際、予選大会は、声をお伝えできないのが残念ですが、各クラス盛り上げて、みんな頑張っ
て挑戦してくれました。代表者による決勝大会は3月14日となっています。



◇◇ リソースルーム(リラックルーム)を支援して頂ける方が、徐々に増えていっています。 ◇◇

お一人は、6月に5年生に対し「いじめ防止教室」の講師として活躍された地元在住の 〇〇 さん。3月
の間は、支援員としてリソースルームを中心に週2日程度支援を頂いております。

そしてもう一方は、昔遊びの講師や、サイエンスショーや科学教室の指導に堪能な地元在住の 〇〇 さん。
リソースルームのボランティアとして、連日午前中を中心に児童の指導にあたってくださっています。
地域からこのようにご支援頂けることを大変有難く感じております。

◇◇ 6年生卒業式の開始時間が変更になっています。ご注意ください。 ◇◇

3月20日(月) 児童登校 8:30 開場 9:00 開始 9:30 11:30頃下校予定